

学部・学科等名及び入学定員等 (令和4年度志願倍率)		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テスト試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜
データサイエンス学部 (3.7倍) 前期 100名 前期 50名 後期 20名 その他 30名	データサイエンス学科 前期 100名 前期 50名 後期 20名 その他 30名	前期 2月25日	国 数	国語 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 物、化、生、地 基礎2科目 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	数 外	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	から3
		後期 3月12日	国 数	国語 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 物、化、生、地 基礎2科目 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目又は6教科7科目〕	外 その他	コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ 総合問題	

試験の区分	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									その他の 選抜方法等	
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	小論文	面接		配点 合計
共通テスト	200	* 300		200	* 300	200				900	総合型 追加合格
個別学力検査				200		200				400	
計	200	* 300		400	* 300	400				1,300	
共通テスト	200	* 300		200	* 300	200				900	
個別学力検査						300	300			600	
計	200	* 300		200	* 300	500	300			1,500	

【注意事項】

1. 大学入学共通テストの利用教科・科目について

- (1) 基礎2科目は、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎のうち2科目の選択を表します。
- (2) 地理歴史、公民、理科において、「物理」と「物理基礎」など、同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択することはできません。
- (3) 数学の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、普通科・理数科を除く高等学校においてこれらの科目を履修した者、及び専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- (4) 経済学部の大学入学共通テストの利用教科・科目は、「A方式」又は「B方式」により行います。

2. 配点について

- (1) 教育学部、経済学部及びデータサイエンス学部の*は、選択教科を示し、4科目受験した場合は、「地理歴史、公民の第1解答科目」、「理科の第1解答科目」及び「地理歴史、公民と理科の第2解答科目から高得点の1科目」の合計3科目の成績を用います。
なお、「理科」で基礎2科目を選択した場合は、「地理歴史、公民の第1解答科目」、「理科の第1解答科目と基礎2科目から高得点の科目」及び「地理歴史、公民と理科の上記で用いなかった科目から高得点の1科目」の合計3科目の成績を用います。
- (2) 経済学部の#は、選択教科を示し、2教科以上受験した場合は、「地理歴史、公民の第1解答科目」と「数学」から高得点の1教科1科目の成績を用います。
- (3) 「地理歴史、公民」及び「理科」において、2科目受験した場合の1科目利用には、「地理歴史、公民」は、第1解答科目の成績を用い、「理科」は、第1解答科目と基礎2科目から高得点の科目の成績を用います。
- (4) 大学入学共通テストの外国語の「英語」の配点には、リスニングの成績を含み、その利用方法については次のとおりとします。

リーディング (100 点満点) とリスニング (100 点満点) の計 200 点満点を学部ごとに次の表の値をかけて換算し、さらに各学部で利用する配点に換算します。

学 部	リーディング (100 点)	リスニング (100 点)
教 育 学 部	1	1
経 済 学 部	2	1
データサイエンス学部	4	1

リスニングを免除された者は、リーディング (100 点) を 200 点満点に換算し、さらに各学部で利用する配点に換算します。

「英語」以外を選択した場合は、筆記 (200 点満点) の成績を各学部で利用する配点に換算します。

- (5) 経済学部の「前期日程」「後期日程」の配点は、「A方式」又は「B方式」により行います。
- (6) 経済学部の「前期日程」「後期日程」の個別学力検査の配点は、「国語・外国語」又は「数学・外国語」の組み合わせにより行います。

3. 個別学力検査等の出題範囲及び出題方法等について

(1) 教育学部

- 国 語 国語総合から出題します。
- 数 学 数Ⅰ、数A [全範囲]、数Ⅱ、数B [(数列) と (ベクトル)] から出題します。同一試験時間内に解答しなければなりません。
- 外 国 語 コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱから出題します。同一試験時間内に解答しなければなりません。
- 実技検査 音楽実技、美術実技、体育実技を実施します(「前期日程」のみ、20頁の別表3参照)。

(2) 経済学部

- 国 語 国語総合から出題します。ただし、古文及び漢文は課しません。
- 数 学 数Ⅰ、数A [全範囲]、数Ⅱ、数B [(数列) と (ベクトル)] から出題します。同一試験時間内に解答しなければなりません。
- 外 国 語 コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱから出題します。同一試験時間内に解答しなければなりません。

(3) データサイエンス学部

- 数 学 数Ⅰ、数A [全範囲]、数Ⅱ、数B [(数列) と (ベクトル)] から共通問題を出題します。加えて、「①共通問題と同じ出題範囲、②数B [(確率分布と統計的な推測)]、③数Ⅲ」の3つの範囲から選択問題を出題します。同一試験時間内に解答しなければなりません。
- 外 国 語 コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱから出題します。同一試験時間内に解答しなければなりません。
- 総合問題 社会や日常生活での課題をとりあげた図や表を含む文章を素材に、表やグラフを読み取り、それらを用いてデータを分析し、分かったことをまとめ、その解釈について議論する能力を問います。

4. その他

- (1) 教育学部の「前期日程」の個別学力検査の教科は、受験型に応じて「外国語・国語」、「外国語・数学」、「外国語・実技検査」又は「外国語・面接」の組み合わせにより行います。各受験型間の複数志願はできません。
「後期日程」の個別学力検査の教科は、「小論文」です。
- (2) 経済学部の昼間主コースの「前期日程」「後期日程」の個別学力検査の教科は、「国語・外国語」又は「数学・外国語」の組み合わせにより行います。
- (3) 経済学部の夜間主コースの選抜は、総合型選抜 (入学定員 50 名) で実施します。